



No. 81

人口の動き

総人口	10,333人
男	4,644人
女	5,689人
世帯数	2,464戸
転入	33人
転出	47人
(5月末住民登録人口より)	

発行 / 岐阜県川辺町 ■ 編集 / 川辺町役場総務課 ■ 印刷 / 中部印刷 KK

左右をよく見て
手を上げて

「信号をよく見て渡るんだよ」
おまわりさんの声にうなずきながら、子ども達は小さな手をしっかりと上げて横断歩道を渡ります。

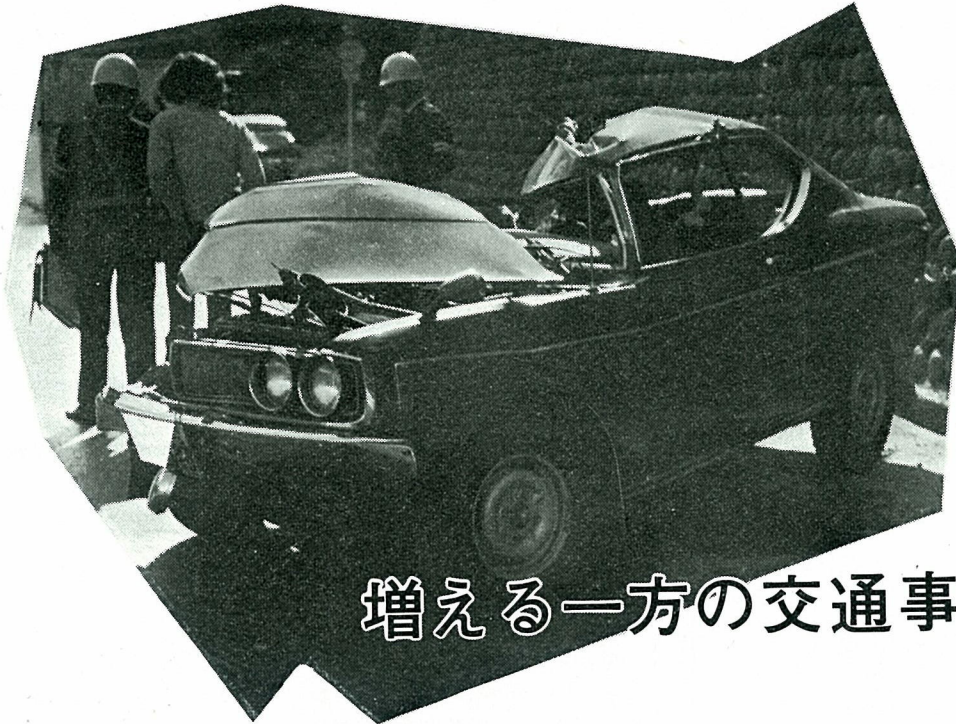
岐阜県は、交通事故死者増加率日本一という不名誉な記録を持ち町内を走る国道41号線でも悲惨な交通事故が絶えません。

家庭でも、日頃から交通安全指導をして、幼い命を交通事故から守っていききたいものです。

(園児交通安全教室＝川辺小グラウンドにて)



毎月第3日曜日は家庭の日です。社会のために奉仕して、明るい町づくりにつくそう。



増える一方の交通事故死者

増える一方の車の数に比例して増加を続ける悲惨な交通事故は、私達の生活に重大な脅威を与えています。

とくに、これから暑くなるにつれて、涼を求めて行楽地へ向かう車が多くなり、ますます事故の危険にさらされると思われます。私達町民の中から、交通事故の被害者や加害者を出さないために一人一人が自覚をもって正しい交通をするよう心がけましょう。

県下で一番の増加率

加茂署管内

交通事故死者は、昭和四十五年をピークに年々下降線をたどり、昨年は一昨年に比べて史上最高の減少率を示し、加茂警察署管内でも前年の二十五人が一挙に十人に減るといううれしい記録でした。

ところが、今年にはいつてから全国的には交通事故死者が減っているのに、岐阜県内は昨年より倍増という悲しい事態に至っています。

とくに、加茂警察署管内では、すでに七人の方々が亡くなり（四月三十日現在）昨年同期の七倍という県下で最高の激増ぶりです。

そのため、警察では連日多数の警察官を街頭に出して、なんとか交通死傷事故を減らそうと懸命に努力を続けています。

しかし、交通事故を防ぐには、結局自動車の運転手、歩行者、自転車に乗る人達が、それぞれ正しい交通ルールを実践していくことしかありません。

例えば、今年加茂警察署管内で発生した交通死亡事故の原因をみると、

- 酒酔い運転 二件 二人
- 居眠り運転 三件 四人
- 踏切り不停止 一件 一人

オートバイに乗る時はヘルメットを

無着用の場合は減点の対象に

二輪車事故のなかで、ヘルメット無着用による死亡事故の率が非常に高いため、道路交通法において着用規定が定められていますが、七月一日からは無着用運転（同乗者の無着用も含みます）に点数制

度が適用され、一回の違反に一点の点数がつけられることになりました。なお、対象外の五〇CC以下の原付自転車に乗る時もヘルメット着用を指導されることになりました。

二輪車を運転（同乗）中、交通事故により死亡した人で頭部損傷は六八・一割います。もし、ヘルメットをかぶっていたらこのうちの相当数の人が助かっただろうと

となっており、これらはいずれも運転者の自覚で十分防げたものです。

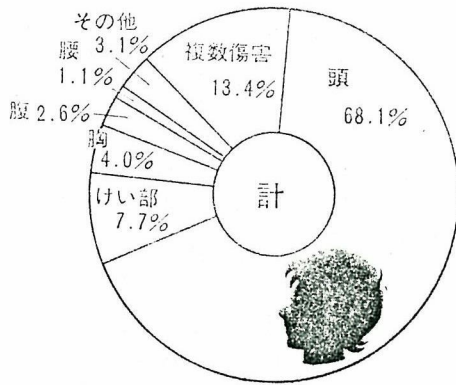
酒を飲んだり、疲れている時、自動車を運転することがきわめて危険な行為であることは、だれでも承知しているはずですが、そのため道路交通法では、交通違反の中でも最も重い罰則をもうけています。

交通法規に定めてあるいろいろなルールは、決して難しいことを要求しているものではありません。これを正しく守っていれば交通事故など起きるはずはないのです。

明日はあなた自身が、あるいは家族が交通事故にあうかも知れないという不安を少しでもなくするために、あなたがまず正しい交通に心がけるとともに、一番の交通弱者である老人と子どもをみんな守ってあげる心づかいをしたいものです。

激増する交通死亡事故に歯止めをかけるため、みんなが手を取りあって立ち上がりましょう。

思われます。
二輪車に乗る時や同乗させる時は、頭を守るため必ずヘルメットをかぶりましょう。



二輪車交通事故死の原因内訳



ヘルメットはこのマークのついたものを

乗車用ヘルメットは、左のようなJISマークやS(SG)マークのついているものを正しくかぶるようにしてください。

道路や交通の状況に応じた速度で

「安全な速度で走る運動」実施中

この運動は、続発する交通事故の発生原因が、主に車のスピードの出し過ぎによるものであることから、運転者が制限速度を守るだけでなく、道路や交通の状況に応じた安全な速度で走る習慣を徹底することを目標に、岐阜県民総ぐるみで推進していこうとするものです。

五月十二日から来年三月三十一日までを運動期間として、

- ▽事故で泣くより 速度を落とせ
- ▽この道でいのち落とすな 速度を落とせ
- ▽はやめの出発 ゆっくり運転

この運動は、続発する交通事故の発生原因が、主に車のスピードの出し過ぎによる危険な運動の絶滅

- ▽スピードの出しすぎを許さない 県民意識の高揚
- ▽二点を重点目標として運動をすすめていきます。

町のみならず、それぞれの職場や家庭において、次のようなことを実行し、この運動を乗りこえるものにしていきましょう。

- (イ) 早めに出発し、ゆとりのある運転
- (ロ) 道路と交通の状況に応じ、事故を起こさない安全な速度で走る
- (ハ) 早めに出発し、ゆとりのある運転

転をする。
(ウ) 無理な追越しはしない。
(エ) 見通しの悪いところでは徐行する。
(オ) 老人、子ども、自転車乗りを見たら徐行する。
家庭では

- (ア) 出かける前に一言「スピードを出さないでね」と呼びかける。
- (イ) 早めに準備して、ゆとりをもって送り出す。

職場では

- (ア) スピードの出しすぎによる危険性を再認識させるための安全教育を徹底する。
- (イ) 業務開始、終了時などに、安全な速度で走るよう呼びかける。
- (ウ) ゆとりのある労務管理及び運行管理の励行に努める。

よいはでよくかみよいからだ

むし歯予防旬間 毎月十日～十九日



川辺町学校保健委員会では、毎月十日から十九日までの十日間をむし歯予防旬間として家族そろっての歯みがき運動を展開していま

す。これは、子ども達に歯みがきを励行するよう働きかけ、むし歯をなくしていこうとするもので、そ

のため町内の児童や生徒に歯みがきカードを配ります。

現在、町内各小中学校の児童と生徒のむし歯保有率をみると、中学校約九三割、川辺小学校約九六割、上米田小学校約八三割、下麻生小学校約七五割、平均で約八七割と非常に多くの児童や生徒がむし歯をもっていることがわかります。

むし歯をなくすこと、歯をみがくことは、口の病気をなくするために必要なことはもちろん、精神的な健康を守り、さらにその健全な精神から健康的肉体が守り育てられるという面からみても、たい

へん重要なことです。

次のことをよく守って、むし歯の予防に努めるようにしてください。

- ▽ 歯みがきは、食後三分間以内に、三分間、一日三回みがくという三・三・三式を心がけてください。
- ▽ 歯をじょうぶにするためには栄養を十分とることが必要です。すきらいをしないで、なんでもよくかみ、とくにミルク、小魚、海そうなどカルシウム分の多いものをとらせるようにしましょう。
- ▽ おやつには、糖分の多い菓子

類をひかえ、時間を決めて与えるようにしてください。また、おやつを食べた後は、うがいをする習慣をつけさせましょう。

- ▽ むし歯になりかけている時は痛くならないうちに、早目に手当をさせましょう。
- ▽ 歯ブラシは、口にあつたものを使うようにしてください。とくに小学校の低学年の子ども達もは、大きな歯ブラシではよくみがけないので、みがきやすいようブラシの毛を切りとってあげてください。

郵便局より 梅雨時の郵便物

梅雨時は、郵便物が湿気でぬれやすく、あて名が読みにくくなったり包装が破れたりすることがあります。雨の日の配達には郵便物がぬれないよう細心の注意を払っておりますが郵便を利用される場合は、次の点にご注意ください。

- ・あて名は、にじんだり散ったりしにくいもので書くとともに、にじんでも判読できるような大きさはつきりとお書きください。
- ・封筒は、雨や湿気で破れないようにできるだけ良質のものをお使いください。
- ・小包は、雨にぬれても包装紙が破れたりひもが切れたりしないよう水に強い材料を使ってしっかりと包装してください。
- ・生ものなどを送る場合は、適当なつめものをして湿気がでないようにするとともに、速達をご利用ください。

なお、郵便受箱がないと、配達された郵便物が、玄関や店先に落ちて汚れたりぬれたりすることがありますので、郵便受箱はぜひお取り付けください。郵便局では、標準規格の受箱をあっせんしておりますので、必要の際は郵便局へ連絡してください。

青少年のみなさんへ



ヤング・テレフォン・コーナー はあなたの相談相手です

あなたは、だれにも言えない悩みごと困りごと、心配ごとなどで、どうしようかと迷った時にどうしますか。こんな時にあなたの味方になってくれるのが、県庁内にある「ヤング・テレフォン・コーナー」（電話による少年相談）で、婦人相談員が受け付けています。住所も名前も言わなくてよく、そのうえ秘密も守ってくれるので安心です。

さあ、ヤングのみなさん、今日から悩みごとや心配ごとでよくよすることはやめ、ヤング・テレフォン・コーナーで相談し、明るく過ごしましょう。

おとなのみなさんもお気軽にダイヤルをどうぞ。

▷電話 岐阜0582-74-3000
▷受付時間 平日 午前8時30分から午後5時
土曜日 午前8時30分から午後0時30分

おしらせコーナー

「協力ありがとう
」ございました

国土緑化推進運動の一環として、四月に行いました「緑の羽根募金運動」につきましては、みなさま方のご協力により、次のようによい成績をおさめることができました。

- ▽上川辺二千八百円
- ▽石神千七百三十円
- ▽中川辺六千二百六十円
- ▽西板井二千四百四十円
- ▽下川辺千七百二十円
- ▽鹿塩千五百円
- ▽下飯田三百八十円
- ▽福島千六百十円
- ▽比久見二千六百三十円
- ▽下吉田九百二十円
- ▽下麻生二千七百八十円

以上、合わせて二万三千八百七十円の金額が集まりました。この募金は、国土緑化岐阜県推進委員会へ送られ、植樹などの費用にあてられます。みなさんのご協力に厚くお礼申し上げます。

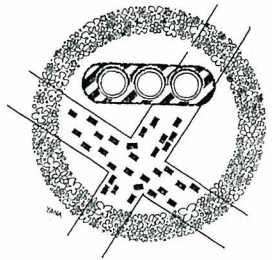
自衛官を募集 しています

防衛庁では、陸、海、空の自衛官を次により募集しています

- ▽年令 十八歳から二十四歳までの健康な方
- ▽試験 簡単な筆記試験、身体検査
- ▽処遇 俸給、賞与の他退職金年金の制度あり
- ▽技術 各種国家免許の取得容

交通遺族作文集

あの救急車のサイレンが！



今では、忘れられない日になってしまいました。昭和四十六年五月十六日、学校で聞いたサイレンが、父や母を乗せた救急車のサイレンであったとは、思いもしないことでした。

いつものように、母の待っている家へ帰ってきたところ、父や母が交通事故で重傷を負い入院したことを、祖母から聞いて、私は暗やみの底に落とされた思いでした。その夜、父や母の無事を祈りながら、病院へ見舞いに行きましたが

ベッドに意識不明でいる両親を見て、ただ、足が震えるばかりで、今考えても、何をしていたかも覚えていません。

その日から二日後の五月十八日の朝、おばが私の枕元にきて、父の死を知らせてくれました。その二日後、こんどは母までが……。

私は泣きたいよりも、両親の死を信じたくない気持ちだけで、何も考えたくありませんでした。

あれから、もう四年の月日が流れましたが、あの日のことは、き

のうのこのように思い出されま

す。私は両親の死後、その悲しみに負けてしまつては、変な方向へいつてしまつたので、心を強くし負けまいと努力しました。幸い、人々に暖かく見守られて生活をして

いる私ですが、何かにつけて、父母を思い出して泣いたことは数えきれません。両親は、運転手さんのだれの心にもある一瞬の油断によって、失われてしまったのです

運転される人の心掛け一つで、人間の命が守られもし、失われもすること、みなさんに訴えたいのです。人間が機械に命を取られるということが、これ以上あつてもよいでしょうか。

交通事故を防止する特效薬はほかになく、すべての人の心の中に安全意識を強く植えつける以外にないと思います。私は祈ります。これ以上、私たちのような交通遺児がふえないことを。

レポート

東海四国青年の船に参加して

鹿塩 / 井戸 新次

日中友好平和条約早期締結問題を控えている今日、日本にとって古き時代から深い関係のある中国へ、四月八日より十六日間という日程で訪れ、上海、北京、天津と回りました。

わずかな私有農地を認めたりえでの共同農業への就業者数は、総生産人口の八〇割を占め、農地は草ひとつなく、またむだなく使われていました。

私達が通った道の大部分はポプラが植わっていました。平野部における林業として、これら緑化のための木を育てているということでした。

小中学校の年数は、合わせて十年であり、その内訳については現在改革中で一律でなく、訪問した三十五中学においての一年間の振り分けは、八カ月間学校で学習、工場と農村へ各一カ月間同行、三カ月間夏冬休みということでした

そして学校内には工場があり、二年生が黙々と働いていました。大進学学については、学力思想の優れた労働経験のある人が自分の意志の他に、同僚の推薦と学校側のチェック等で行けるのであるというように聞きました。

工場は、人数が多いように感じ男女労働者の力のはいった説明からも、生産に参加するということ

に目標がおかれているように感じました。

病院では、針麻酔による人工頭がい骨を用いた手術や針治療などを見せてもらいました。また、農業に従事しながら、医者としての勤めを果たす「はだしのお医者さん」に、私達も針をうってもらったりしながら話し、根の深い医療制度を感じました。

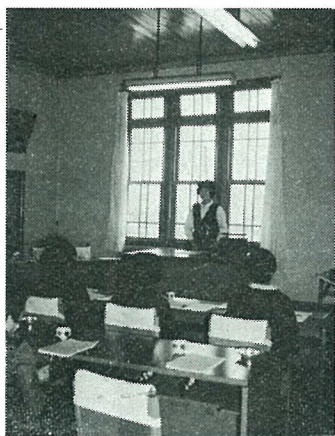
学校、農村、陸軍、各地でのレセプションなどでは、音楽や演劇などを見、これらが生活の中に広く溶け込んでいるように感じました。また、町の数ヶ所では大極拳をしている男女を見ることもありました。このほか、故宮、万里の長城の見学、記念植樹、卓球による親善試合などを行いました。

私達の行動の一部を書かせていただいたわけですが、根強い主義思想、表情の美しさ、女性の進出が強く印象に残りました。

青年の海外研修も増えており、今回の訪中や今後の海外研修の報告等により、国際的視野を少しでも広めるようにしていきたいと思

います。最後ではありませんが、今回訪中できましたことを、心からお礼申し上げます。

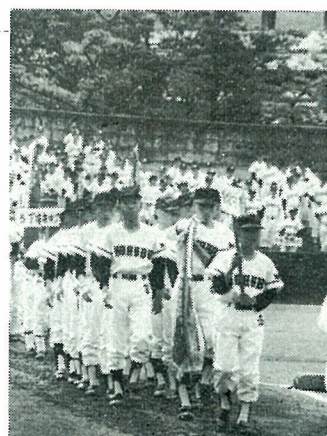
カメラルポ



交通ママさん委嘱式

5月9日、役場で交通ママさんの委嘱式が行われました。

この日の委嘱式には、八百津町交通ママさん連合会の古田花子さんがみえて、交通事故の悲惨さなどの講義をされ、集まった28人の交通ママさんも熱心に耳を傾けてみえました



中部中野球部 県大会に出場

5月18日、岐阜県営球場で開かれた全日本少年軟式野球岐阜県大会に中部中野球部が出場しました。

強敵真正中学校と対戦した中部中は、善戦およばず敗れましたが、そのはつらつとしたプレーに応援団から盛んな拍手がおくられていました

おしらせコーナー

心配ごとはありません

毎月第一、第三水曜日は心配ごと相談日です。七月二日、十六日の両日、午前九時から十二時まで役場で行います。

生活上の問題、家庭不和など心配ごと、悩みごとがありますたら気軽ににお出かけください。

田 の 部		
農地の区分	小作料の標準額	備 考
上 段	13,000円	ほ場整備水田 三等米420kg (7俵以上)
中 段	10,000円	三等米 360kg (6俵)
下 段	標準額を定めない	三等米 300kg (5俵)
畑 の 部		
農地の区分	小作料の標準額	備 考
一 率	5,500円	

詳しいことは、自衛隊岐阜地方連絡部(電話岐阜五二〇七四)へおたずねください。
標準小作料改定のお知らせ
昭和四十八年に定められた川辺町標準小作料の額が、経済事情の変化、生産者米価の高騰などにより、次のように改定されました。

町史編さん室だより



—その4—

江戸時代の宗教制度の中で、キリシタン禁制は現在では考えられない程厳しいものがありました。そのため「宗門人別帳」

を作成し、キリシタン信徒の未然防止に努めておりました。

宗門人別帳とは、村、寺単位として家ごとに家族の男女別、年令宗旨などの調査を冊子にまとめたものです。これを檀那寺が証明し村の庄屋から幕府奉行所に提出されたのでした。

万一、後日になってキリシタン信徒が発見された場合は、親類縁者、庄屋、寺僧にいたるまで連帯責任を負わされ、厳重な刑罰が科せられました。

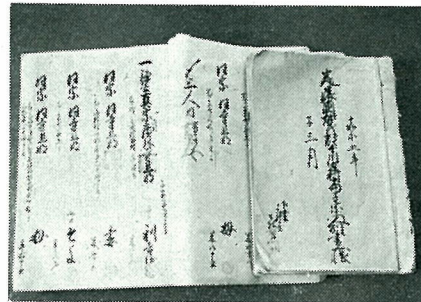
この人別帳は毎年作成されることになっておりましたが、川辺町では三年に一回調査されていたようです。現在の国勢調査と考えられます。

江戸時代初期にはキリスト教禁止の手段であった人別改めも、その後は人員掌握のための戸籍台帳へと変わっていきつております。

宗門人別帳と併行して「宗門送り状」があります。これは結婚、移住などによって人々が他村に移動する場合、村の庄屋が本人の家系、年令、宗旨を記載し、移住先の庄屋あてに送り状として書いたものでした。現在の住民異動票の役目を果たしていたものと思われ

ます。

町史編さん室へ寄せられた宗門人別帳は、下川辺関係七冊、宗門送り状は石神、福島など数十枚に達しております。これによって当時の村落構成、家族の状態、村人



江戸時代後期の宗門人別帳

の転出入など、他村との交流を知ることができ、当時の労働人口を解く貴重な資料となっております。

(町史編さん委員、木下尚年)



ガスのじょうずな使い方

ロースクでもガスでも炎は先端が一番温度が高いのです。ガスコンロは、火をつける時だけコックを全開し、あとはナベの底に炎の先が、ちょうど届くくらいに調節しましょう。

瞬間湯わかし器などのパイロットバーナー。こんな火ぐらいたいしたことないわ、とつけっ放しのご家庭はありませんか。湯わかし器などを使わない時は、パイロットバーナーは消しましょう。

わたしたちの作品

- 泣きじやくる孫を列車の窓越しに 出産の娘の街離れ来ぬ 牧田たまゑ
切るは惜し冬を耐え来し木瓜の花 紅あざやかに目の高さなり 横山 寿子
贈られし志野の茶碗両の掌に つつめばたしかな生命に触るる 長瀬宗子
朽ちしまま残る墓標はごぜとかや むごき運命の一生しのびて 肥田 千里
息の合格確かむ今朝の厨辺に 速達便来て心ほぐさる 岩井三千代
わが列車転覆の夢におののきて 大声あげしか妻も起きたり 紅谷 茂
文楽の女の眼をひといきに 入れしはりに絵に命あふれる 松岡 久美
身勝手にもの言ふ人に抗らいたき 心をしばし受話器にとどむ 山田 君子
わが庭の石の日向にすみれ咲き 日陰にいまだ残雪の見ゆ 赤坂富美子

- 曇り空母関節を採みており 持病の性にいたわしさ増す 井戸 正二
いくばくも無く咲き残れりし蓮花草に 群がる蜂の羽音響けむ 前島 政平
生まれたる孫は帰りに今宵から 部屋広々と静寂淋しき 井戸 孝子
涙など出さぬものかと強がれど 歪受くる吾娘に嗚咽堪えぬ 前島 一代
故郷に続く空あり紺碧の 彼方にジェット機白き糸引く 村瀬 雅一
汝も我も貧しき世代に育ちたり 朝餉の膳に謝して向ひぬ 小島みぎ子
言ふことのあまりに多き世代なり 生活に追われ、夫と諍ふ 村瀬 正子

おめでた おくやみ

(四月中の届け出)

〔出生〕

ご成長をお祈りします

- 石神 牧野 竜太 勲 長男
中川辺 小川 慎司 誠 二男
渡辺 真喜 俊治 長女
小栗 洋丈 宗治 長男
井戸 未果 長四郎長女
比久見 小牧いづみ 治 長女
有本あずさ 皆雄 長女
酒井 伸明 勝廣 長男
小森 尚子 重道 長女

〔死亡〕

- 謹んでおくやみ申し上げます
下麻生 杉山 里よ 83歳
上川辺 柴田かくゑ 58
石神 加藤源一郎 79
鹿塩 加藤たつの 83
西板井 堀江すみゑ 62
下川辺 木下 静加 43
下吉田 馬場範三郎 85
比久見 細田 清 78
福島 小森 清子 49